

順位	氏名（議席）	発言の要旨
9	伊東 美加（9）	<p>1. 在宅生活を支える訪問介護体制と人材確保について</p> <p>高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、訪問介護をはじめとする在宅支援体制の充実が重要です。特に、独居高齢者や重度化した高齢者、障害福祉サービス利用者にとって、訪問系サービスは地域生活を支える重要な基盤となっています。</p> <p>一方で、近年は介護人材不足が深刻化しており、全国的に訪問介護事業所の休止・廃止も見られるようになってきました。</p> <p>また、利用者支援の要となる介護支援専門員についても、業務負担や担い手不足が課題として指摘されています。</p> <p>今後さらに高齢化が進み、在宅ニーズの増加が見込まれる中、地域包括ケアを持続可能なものとしていくためには、在宅支援体制をどのように維持していくかが重要であると考えます。そこで、本市の現状と今後の取組について以下のとおり伺います。</p> <p>(1) 本市における訪問介護事業所の休止・廃止の状況及びその理由について、どのように把握しているか伺います。</p> <p>(2) 訪問介護事業所が休止・廃止された場合の介護保険や障害福祉サービス利用者への影響及び対応について伺います。</p> <p>(3) 在宅生活を支えるに当たり、介護支援専門員が重要な役割を果たしています。介護支援専門員の業務負担や担い手不足についてはどのようにお考えか伺います。</p> <p>(4) 今後、高齢化の進行や在宅ニーズの増加が見込まれる中、地域包括ケアを支える在宅支援体制をどのように維持していくお考えか伺います。</p> <p>2. フレイル予防と地域のつながりを生かした介護予防について</p> <p>高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるためには、介護サービスの充実だけでなく、介護予防やフレイル対策をさらに推進していくことが重要です。</p> <p>特に近年は、身体機能の維持だけでなく、人とのつながりや社会参加、生きがいなどが健康寿命の延伸に大きく関わるのが指摘されています。日常的な運動習慣、地域での交流、さらには日々の役割や外出機会を生み出す活動も、高齢者の心身の健康維持につながる側面があると考えます。</p> <p>また、今後、介護人材不足が懸念される中では、高齢者ができるだけ介護状態に陥らず、地域の中で支え合いながら暮らし続けられる環境づくりがますます重要になると考えます。そこで、本市におけるフレイル予防の取組と、地域の多様な活動を生かした介護予防について以下のとおり伺います。</p> <p>(1) 本市におけるフレイルチェックの実施状況及び参加者数の推移について伺います。</p> <p>(2) フレイルチェックの結果について、経年的な変化や生活習慣との関連など、どのような分析・活用を行なっているか伺います。</p> <p>(3) 高齢者が地域で元気に暮らし続けるためには、日常的な運動習慣や人とのつながり、社会参加、生きがいなどが重要であると考えますが、フレイル予防におけるこれらの要素をどのように認識しているか伺います。</p> <p>(4) 今後、介護人材不足が懸念される中では、福祉分野だけでなく、生涯スポーツ、地域活動、居場所づくり、さらには動物との関わりなども含め、様々な分野がフレイル予防や介護予防の視点を持ちながら連携していく必要があると考えますが、どのようにお考えか伺います。</p>